

**ふくしまユニバーサルデザイン**

**推進パートナー募集（団体用）**

**応募資格**　　①　団体：県内の事業者やボランティア、ＮＰＯ等の団体のうち、ＵＤに関する取組を行っている団体

　　　　　 　②　個人：県内に在住、在勤又は在学し、次のいずれかに該当する方

　　　　　　 　○ ＵＤについて理解し、ＵＤの推進に取り組む意欲を有する方

　　　　　　　 ○ 県のＵＤの推進に関する事業への参加経験がある方

　　　　　　 　（ＵＤ出前講座を受講された方、

ＵＤに関する講演会等に参加したことのある方　など）

**活動内容**　　　１、ＵＤの推進に関する取組の実施

（思いやりをもった行動、多くの人が使いやすい設備の設置　など）

　　　　　 　　２、ＵＤに関する県への情報提供

　　　　　 　　３、ＵＤの推進に関する県等の取組への具体的な提案

**県からの支援**１、パートナーへのＵＤに関する情報の提供（メールマガジンの配信　など）

　　　　　　　 ２、パートナーの取組内容等の県ホームページでの紹介

**応募方法等**　　裏面の応募用紙に必要事項をご記入の上、郵送、メール又はFAXでお申し込みください。なお、取組内容に関する資料がありましたら添付してください。

2020東京オリンピック・パラリンピックに向けてもＵＤを積極的に推進していくことが大切です。

**年齢、性別、障がいの有無等にかかわらず、すべての人が、安全に安心して生活できる社会づくりを目指す「ユニバーサルデザイン（以下ＵＤという）」。**

**福島県では、県と一緒にＵＤを推進していくパートナーを募集しています。**

**『誰もが暮らしやすいふくしま』を一緒につくっていきませんか？**

**ご応募お待ちしております！**

思いやりをもった行動

（こころのユニバーサルデザイン）

**◇　ＵＤの推進への取組例　◇**

多くの人が使いやすい設備の設置

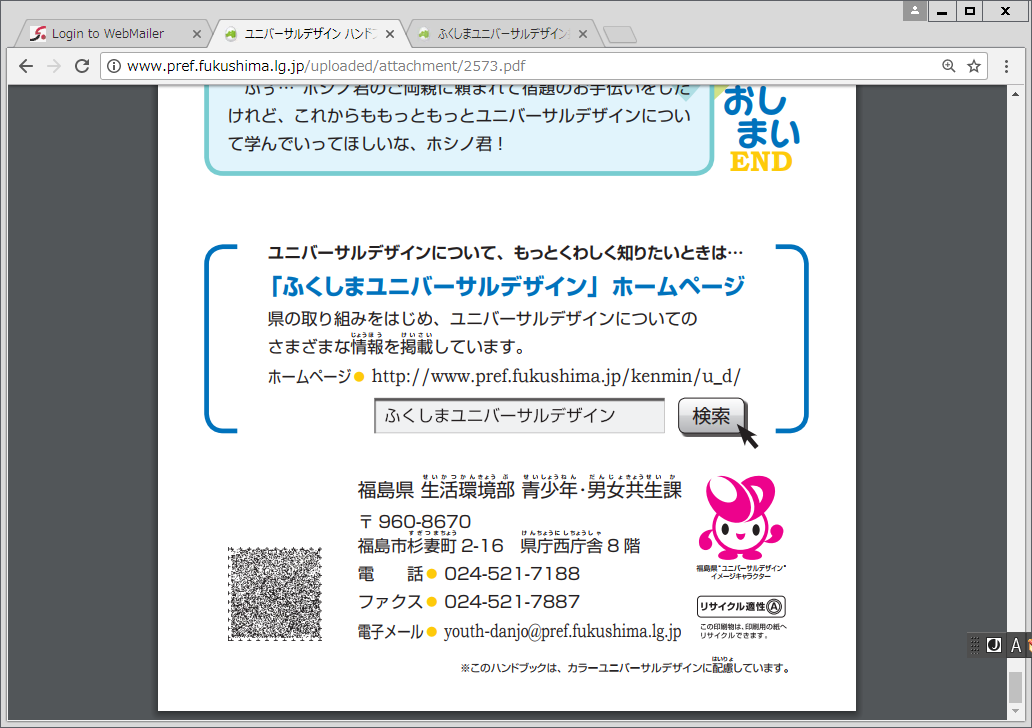




〒９６０―８６７０ （住所記載不要） **福島県　生活環境部　男女共生課**

℡：024-521-7188 FAX：024-521-7887 　　Ｅ-mail：danjo@pref.fukushima.lg.jp

ＨＰ：http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16005c/ud-oshirase-partner.html



福島県　ユニバーサルデザインパートナー

**団体用**

**ふくしまユニバーサルデザイン推進パートナー応募用紙**

必要事項を記入の上、郵送、メール又はＦＡＸでお申し込みください。なお、応募用書類は返却しませんので、あらかじめご了承ください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| フリガナ  団 体 名 |  | | | | | | | | | | | |
| フリガナ  代表者名 |  | | | | | | | | | | | |
|  | 郵 便 |  |  |  | ― |  |  |  |  |  | | |
| フリガナ |  | | | | | | | | | | |
| 主たる事務所の所在地 | 住 所 |  | | | | | | | | | | |
| 電 話 | （ 　　） 　　 ― | | | | | | | | | ＦＡＸ | （ 　　 ） 　　― |
| ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ |  | | | | | | | | | | |
| HPｱﾄﾞﾚｽ |  | | | | | | | | | | |
| 取組内容等 | ※「取り組まれている具体的な事例」、「今後取り組もうとしている内容」について記入してください。 | | | | | | | | | | | |
| 備 考 | ※県からの資料送付に関する希望（郵送・メール・ＦＡＸの別）や担当者の氏名、連絡先等について記入してください。 | | | | | | | | | | | |

（※）この他に取組内容に関する資料がありましたら、添付してください。

**ユニバーサルデザインとは**

ユニバーサルデザインは、「年齢、性別、身体的能力、言語などの違いにかかわらず、はじめから、すべての人にとって安全・安心で利用しやすいような建物、製品、サービスなどを計画、設計する」考え方のことです。



**ふくしま型ユニバーサルデザイン**

　　　福島県では、まちづくりやものづくりのＵＤだけでなく、情報、サービス、意識づくりなどのＵＤにも力を入れています。**「こころのユニバーサルデザイン＝お互いを思いやる気持ち」**が普及すれば、設備が整っていなくても、少しの手助けで解決できることもあります。

